

評価規準（令和 2 年度）【図画工作】 6 学年

内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○感じて考えて【絵】	(知) 手と心を働かせて、いろいろな材料を使って表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを理解している。 (技) 表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	(表) 動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料に触れて感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (鑑) 動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に手と心を働かせて、いろいろな材料を使って表す学習活動に取り組もうとしている。
○わたしの感じる和【鑑】	(知) 日本の美術に触れたり見たりするときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	(鑑) 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、日本の美術作品や生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に古くから生活の中で親しまれてきた日本の美術のよさや美しさを味わう学習活動に取り組もうとしている。
○固まった形から【立】	(知) 布を固めた形から想像を広げて立体に表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。 (技) 表現方法に応じて液体粘土を活用するとともに、前学年までの水彩絵の具や布についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	(表) 動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、布の形を変えたり固まった布の形をいろいろな向きから見たりして、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (鑑) 動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に液体粘土で布を固めた形から想像を広げて立体に表す学習活動に取り組もうとしている。

○くるくるクランク【工】	(知) クランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくるときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。 (技) 表現方法に応じて身近材などを活用するとともに、前学年までの切る用具、描画材、接着剤などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	(表) 動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (鑑) 動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的にクランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくる学習活動に取り組もうとしている。
○言葉から想像を広げて【絵】	(知) 詩や短歌、物語などを読んで想像したことを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさを理解している。 (技) 表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともにクレヨン・パス、色鉛筆、コンテ・パステルなどについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	(表) 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかなどを基に、自分のイメージをもちながら、詩や短歌、物語などから感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (鑑) 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に詩や短歌、物語などを読んで想像したことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。
○この筆あと、どんな空【鑑】	(知) 空が描かれた美術作品を見るとき感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさを理解している。	(鑑) 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかなどを基に、自分のイメージをもちながら、我が国や諸外国の親しみのある美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に空が描かれた美術作品を見て、表し方の違いを見付け、よさや美しさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

○ここから見ると【造】	(知) 場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して、奥行き、バランスなどを理解している。 (技) 活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。	(表) 奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。 (鑑) 奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。
○水の流れのように【立】	(知) ガラスが溶けてできる水のような感じを生かして表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。 (技) 表現方法に応じてガラスを活用するとともに、前学年までの粘土や粘土べら、切り糸、かきべら、のし棒などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫している。	(表) 動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、水が流れる様子について感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (鑑) 動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的にガラスが溶けてできる水のような感じを生かして、焼き物に表す学習活動に取り組もうとしている。
○1 まいの板から【工】	(知) 生活を楽しく豊かにするものを、1枚の板から無駄のない使い方を考えてつくるとき感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。 (技) 表現方法に応じて電動糸のこぎりや塗料を活用するとともに、前学年までののこぎり、金づち、釘、水彩絵の具などの描画材などついで経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	(表) 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (鑑) 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に生活を楽しく豊かにするものを、1枚の板から無駄のない使い方を考えてつくる学習活動に取り組もうとしている。

○版で広がるわたしの思い【絵】	(知) 自分の思いに合った版や刷り方を考えて表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 (技) 表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	(表) 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (鑑) 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	(主) つくりだす喜びを味わい、主体的に自分の思いに合った版や刷り方を考えて表す学習活動に取り組もうとしている。
------------------------	--	--	---